

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報			
・ 学部	工学部		
・ 学科(コース等)	電気工学科		
・ 学年(渡航開始時)	学部3年生		
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	☐ 氏名も掲載してよい ☒ 学部・学科まで掲載してよい ☐ 完全匿名での掲載を希望		

留学先情報				
・ 渡航型/オンライン型	☒ 渡航型 ☐ オンライン型			
・ プログラムタイプ	☒ 授業履修型 ☐ 研究室配属型			
・ 国・地域名	オーストリア・オーバーエスターライヒ州			
・ 都市名	ヴェルス (Wels)			
・ 留学先大学名	アッパーストリア応用科学大学			
・ 留学期間	☐ 3ヶ月未満 ☐ 3ヶ月～半年 (1セメスター程度) ☒ 半年～1年 (2セメスター程度)			
・ プログラム期間	プログラム開始時期	2024年9月中旬	プログラム終了時期	2025年7月中旬
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	☐ 1年前期 ☐ 修士1年前期 ☐ 1年後期 ☐ 修士1年後期 ☐ 2年前期 ☐ 修士2年前期 ☐ 2年後期 ☐ 修士2年後期 ☐ 3年前期 ☐ 博士以上 ☒ 3年後期 ☒ 4年前期 ☐ 4年後期			
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	私がこの大学を選んだ理由はいくつかあります。まず、応用化学大学として企業とのつながりが強く、研究設備が非常に充実している点に魅力を感じました。また、他の大学も検討しましたが、多くはプログラミングなどのコンピューターサイエンスに重点を置いており、自分の興味と一致しなかったため選びませんでした。その一方で、この大学は自分の学びたい内容と一致していたのも大きな理由の一つです。さらに、電気工学科の授業がすべて英語で開講されていることも、ドイツ語を話せない自分にとっては、選択の大きな決め手となりました。また、オーストリアは治安の良さと世界的にも高く評価されているので、生活環境の面でも安心して学べるという点も留学先の決め手です。			
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)				

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	☒ 休学をした ☐ 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取得しており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

授業に関しては、学部・修士の授業でかなりレベルの幅がありますが、どの授業も面白い内容で楽しかった印象です。授業の種類によってルールがあり、Practiceの授業では、80%の出席率が求められ、Labの授業では100%の出席率が求められます。交換留学生はいろんな学部の授業を取ることが多く、授業のオーバーラップが起こってしまうことがよくあるので、注意が必要です。成績に関しては、継続的にちゃんと勉強しないと落ちるという印象です。中間試験や期末試験がある授業では、どちらも50%以上を取らないと自動的に不合格になります。また成績評価はほぼ試験結果で評価されるため、テストでとれないと落ちます。テストは3回受ける権利があり、うち2回は筆記の試験、最後の3回目の試験は口頭試験で教授3人の前で授業で学んだものを説明するというかなりハードなものとなります。2回の試験で合格することをお勧めします。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。（たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。）

科目名①	Circuit Analysis Lecture/Practice	単位数 (現地単位数)	3 ECTS/ 3 ECTS
科目概要	この授業は、理論を勉強する授業(Lecture)、理論で学んだ知識を使って実際に回路計算をしたり、シミュレーションソフトを使って回路現象を分析したりする授業(Practice)の2つに分かれています。授業内容は、オームの法則などの電気回路の基本的な内容から始まり、最終的には、過渡現象の分析などの応用的な内容も扱います。		
科目名②	Industrial Project	単位数 (現地単位数)	4 ECTS
科目概要	この授業は、工業の自動化をメインにプロジェクトを行う授業で、豊富な設備の中から自分のやりたい内容にあった機器を選んでプロジェクトを行う授業です。ベルトコンベア、アームロボット、3Dプリンタ、VRゴーグルなど設備が整っています。私は他の留学生とグループを作り、VR空間での3Dパズルゲームの作成をしました。VRやUnityに関する知識がない私たちがでしたが、調べて自分たちで勉強したり、それでもうまくいかないときは担当の先生が助けてくれるので、たくさんのことを楽しく学ぶことができました。		
科目名③	Vehicle Components and Driving Dynamics	単位数 (現地単位数)	4 ECTS
科目概要	この授業は、車の構造に関して学ぶ授業です。タイヤ、シャーシ、モーター、ブレーキなど様々な分野に分けられたユニットを一つずつ丁寧に解説してくれます。授業の後半には、Pythonを使ったブレーキと制動距離に関するプログラミングの課題と、この授業に関連した内容の論文を選んで、その内容をまとめてプレゼンするという課題が課せられました。		
科目名④	Communication with intercultural aspects	単位数 (現地単位数)	1.5 ECTS
科目概要	この授業は、コミュニケーションに関することを学びます。発表する際に人にうまく伝えるにはどう話すのが効果的なのか、いい関係を築くにはどういった接し方をすればいいのかといった社会に出た時にとても大事なことを学ぶことができます。授業中にはグループ活動をする事が多いので、英語をたくさん話したい人にはお勧めです。		
科目名⑤	Intercultural Competence for the Workplace	単位数 (現地単位数)	1.5 ECTS
科目概要	この授業は、将来就職するにあたって必要なことが学べます。具体的には、CV、モチベーションレターの書き方、面接の練習を学ぶことができます。また、校外学習も充実しており、キャリアフェア、会社見学も授業に含まれているので、現場で実際に働いている人とお話しすることができ、将来働くイメージがつかめます。		
科目名⑥	Sustainable Energy Supply	単位数 (現地単位数)	3 ECTS
科目概要	この授業は、再生可能エネルギーに関することを学ぶことができます。この授業は教授が主体で授業をするというよりは、生徒が各々調べものをしてきてそれを発表するという形でした。15分ほどのプレゼンテーションを作成し授業の日に発表するという流れです。プレゼン準備はかなり大変でしたが、世界中の新しい再生可能エネルギーの研究を知るきっかけになったのでとても面白かったです。		
科目名⑦	German Language	単位数 (現地単位数)	3 ECTS
科目概要	この授業は、交換留学生は必修の授業です。週に1回Berlitzから講師が来て、2時間半ほどみっちりドイツ語の授業を受けます。ほとんどの留学生は最初はA1.1のクラスでドイツ語を学びます。アルファベットの読み方、文法、単語など基礎的な内容を学ぶことができます。クラスはレベル分けされているので、ドイツ語を学んだことがある方は自分にあったクラスでドイツ語を学ぶことができます。		
科目名⑧	Brewing Science	単位数 (現地単位数)	1 ECTS
科目概要	この授業は、ビールを作る授業です。すごくオーストリアらしい授業で、留学生にとっても人気の授業です。麦を粉碎するところから、ホトリングまですべて自分たちでやるので、ビールのすべてを学ぶことができます。		

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

現地の大学ではBuddy制度があり交換留学生全員にBuddyがつくので、現地の生活で困ったらBuddyに頼ってみてください。また、現地の国際部の方もとても優しいので困ったことがあったらいろいろ相談してみてください。

寮の各階にある共有のキッチンが絶好の交流スポットです。私はよくそこで他の留学生だったり寮に住んでいる他の人と話したり、ときには勉強もしていました。

また現地での生活に関してですが、オーストリア人の多くは英語が堪能な人が多いので、ドイツ語が話せなくてもあまり生活に困ることはなかったです。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

自分の英語力が心配だったり、心配事がたくさん浮かんできて留学どうしようかなと思っている人がもしいたら、ぜひ勇気を出して留学に行ってみてほしいです。自分は休学をしてでも留学に行ってもよかったなと思うほど今回の交換留学に満足していますし、自分の決断に全く後悔していません。1年も留学していると世界中にたくさんの友達ができますし、寮と一緒に暮らしていた友達とは大親友レベルで仲良くなりました。そういった友達は僕の人生で大切な宝物だと感じますし、学生のうちでしかできないことだと思います。とにかく行っちゃえば大抵はどうにかかります。英語がそこまで話せなくても身振り手振りで最悪どうにかかります。とかいう私も留学前は現地での生活にとても不安を抱いて渡航し、いくつかトラブルもありましたが、あっという間の1年間でした。現地についてからは心配してる暇もなく毎日が過ぎていきます。そこまで心配しすぎる必要はありません。

また、良い意味でも悪い意味でもカルチャーショックを受けることがあると思いますが、日本ではできない経験だと思って前向きに受け入れましょう。それでも自分が嫌だなと感じるときは相手に伝えることも大切です。伝える勇気も持ちましょう。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
協定校出願は特に難しいことはありません。協定校の国際部の方から出願サイトのリンクが送られてくるので、そこに必要書類を用意し、アップロードするだけです。わからないことや困ったことがあれば、協定校の国際部の方にメールで質問してみてください。
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)
2セメスター以上の留学となると滞在許可の申請が必要となります。滞在許可申請に必要な書類がよく変化するので、オーストリアの滞在許可申請の公式サイトをよく確認しておいてください。また、分からないことや疑問点は在日オーストリア大使館にメールで問い合わせたりすることもできるので自分から行動しましょう。オーストリア現地で滞在許可の申請を行う場合、日本で用意できる書類はすべて留学前に準備しておくことをお勧めします。また、アポステューユ認証や認証翻訳が必要だったりするので計画的に書類集めをしましょう。
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。
必要な手続きがたくさんあり大変かと思いますが、一つづつ着実に進めていけば確実に終わるので、頑張ってください！

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)
協定指定の寮(2種類あり)
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)
協定校から紹介された
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？ 交通手段や所要時間を教えてください。
空港からオーストリア国鉄で2時間半ほど。乗り換えなしで行ける
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。
徒歩で15分
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。
私の住んでいた寮にはたくさんの留学生在住しており、各階に共用のキッチンがありそこが交流の場になっていました。部屋も一人部屋であればプライベートが確保されており、平日はオフィスにスタッフがいたので困ったことがあれば相談できます。寮内には、ジム・卓球台・サッカーコート・バレーボールコートといった娯楽の場所も用意されています。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥4,000	Student Union fee(各セメスターごと)
往復航空券代(往復)	¥400,000	
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥180,000	
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥140,000	滞在許可申請に関する費用(申請費、ドイツ語認証翻訳費など)
計	¥724,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥100,000	家賃、平日の食堂での食費が含まれています
食費/月	¥30,000	主に土日にかかる食費
その他/月	¥45,000	オーストリア国内の健康保険、交通費、その他生活費
計	¥175,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥120,000	
渡航支援金	¥130,000	1回のみの支給です
計	¥250,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のメインの建物



説明文

この建物がFH Welsのメインの建物です。町中に10以上の講義棟がちりばめられているので、慣れるまでは注意が必要です。

寮



説明文

寮のエントランスの写真です。平日は鍵を使わずに入ることができますが、休日は鍵をタッチして入る必要がありますので防犯面も安心です。

近所の公園



説明文

家の近くにある公園です。季節によっていろんな植物が植えられており、たまにオーケストラのコンサートを見ることができます。

寮の部屋



説明文

寮の部屋の写真です。部屋によって異なりますが、この部屋は2人部屋で、トイレ・シャワーをもう1つの部屋と共有しています。鍵付きのクローゼット、引き出しがついています。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。